

The 9th HEROES CUP

関西大会

2017. **2.5.** [SUN] at 大阪国際大学 人工芝ラグビー場

2.12. [SUN] at 花園ラグビー場 第2グラウンド

関西大会代表者会議

開催日時：平成29年1月8日(日)

18:00～

開催場所：がんこ寿司本社会議室



第9回 ヒーローズカップ 関西大会開催要綱

1. 開催日時 平成29年2月5日(日)・12日(日) ※雨天決行
2. 場 所 5日:大阪国際大学 人工芝ラグビー場
12日:花園ラグビー場 第2グラウンド
3. 参加チーム
(公財)日本ラグビーフットボール協会の近畿地区各府県協会所属スクールで、1スクール1チームとする。(単独チームで人数が不足している場合のみ合同チームでの参加可能)
4. 参加資格
①上記参加スクールにおいて、選手として登録されている小学生。
②小学校6年生および5年生。
③保護者が参加を承諾した選手であること。
④大会参加にあたっては引率者を必要とする。
⑤(公財)スポーツ安全協会を通じて、スポーツ安全保険に加入している事。
5. 競技方法
①ルールは(公財)日本ラグビーフットボール協会制定の『平成27年改訂版競技規則 U-12 ミニラグビー・高学年』による。
②試合の組み合わせは抽選にて行う。
③タイムキーパー制で行う。
6. 競技形式
4チーム(8ブロック)によるトーナメント戦により、各ブロック1位のチームが決勝大会に進出。
同点の場合は抽選を行い進出チームを選出。
7. レフリー等
レフリー・アシスタントレフリーは大会運営側で近隣府県協会公認レフリーを手配。
8. ドレスチェック
開会式後記念写真を撮影したチームからドレスチェックを行います。
※遅れてきた選手は本部にて必ず受けること。
チェック項目
①スパイク:取り換え式ポイント及び金属がついていないスパイク
②ヘッドキャップの確認
③肩パットなどを着用していないこと
④爪(爪が長い選手は切ってから再チェックを受けること)
9. アップグラウンド
【大阪国際大】
アップグラウンドは土グラウンドを全チームで譲り合って使用。

または、人工芝グラウンドのベンチ以外の空いたスペースで行うこと。
人工芝グラウンドを使用できるチームは次の試合のチームとします。
土グラウンドから通路に上がる時、スパイクの土を十分落とすこと。
第⑬⑭ゲームの4チームは試合終了後、土グラウンドのトンボを行う。

【花園第2グラウンド】

練習グラウンドと人工芝グラウンドを全チーム譲り合って使用。
練習グラウンド(天然芝)を使用の場合は全員がスパイク着用。

10. グラウンド使用上の注意。

- ①選手、コーチ(ベンチ)保護者観戦エリアはグラウンドのどちらかのインゴールのみとする。
- ②グラウンドサイドは写真撮影・ビデオ撮影のみ可能とする。
ただし、選手への指示・声援は一切禁止とする。
- ③グラウンド内には水以外は持ち込まない。
- ④グラウンド内での飲食は一切禁止(お菓子・ガム・アメ含む)
- ⑤当該チーム関係者以外はグラウンドの外から観戦してください。
- ⑥ピンヒールなどはグラウンド内(人工芝含む)立ち入り禁止。

11. 選手の交代は各グラウンドの競技役員(グラウンド中央部分に待機)に申告し、指示に従ってフィールドに入れること。
一度の交代は3名まで。退場した選手も再出場することができる。

12. シンビンでの一時退場は3分間とします。

13. ゲーム終了後、アフターマッチファンクションを行います。
相手ベンチへ挨拶を行い、速やかにアフターマッチファンクション場所へ移動。

14. 大阪国際大学使用注意事項

- ①駐車場は各チーム7台(バス含む)とし、駐車券を発行します。
- ②駐車券のない車両は構内に入れません。入場時に駐車券の提示が必要。
- ③トイレはグラウンド入口と校舎内に設置。
- ④喫煙場所以外での喫煙は一切禁止。

15. 花園第二G使用注意事項

- ①駐車場は人工芝横の有料駐車場を使用可能。
- ②グラウンドに入るSAはスパイク着用。
- ③工事の為西側(第1Gメインスタンド側)通路のみ通行可能。
- ④トイレはバックスタンド下を使用。
- ⑤第1Gの電光掲示板下の屋根部分の使用は可能。
- ⑥喫煙場所以外での喫煙は一切禁止。

16. 共通注意事項

- ①競技中に生じた負傷の応急処置はいたしますが、以後の責任は負いません。
- ②貴重品の管理は各チームの責任でお願いします。
- ③ゴミ等はチームで責任をもって持ち帰ってください。
- ④忘れ物はヒーローズでは預かりません。
お帰りの際は、忘れ物チェックをチームで確認してください。
- ⑤構内通路やチーム待機所でのパス・キックは厳禁。

第9回 ヒーローズカップ 関西大会(2月5日) 試合予定

2017・2・5

大阪国際大学人工芝ラグビー場

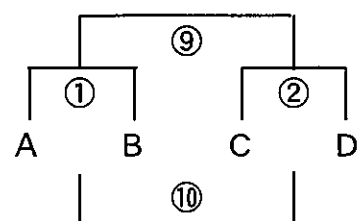
スケジュール

集合	8:30
代表者会議	9:00
レフリー会議	9:00
キャプテン会議	9:00
開会式	9:20
12分-3分-12分	
第①②ゲーム	10:30~10:57
第③④ゲーム	11:05~11:32
第⑤⑥ゲーム	11:40~12:07
第⑦⑧ゲーム	12:15~12:42
第⑨⑩ゲーム	12:50~13:17
第⑪⑫ゲーム	13:25~13:52
第⑬⑭ゲーム	14:00~14:27
第⑮⑯ゲーム	14:35~15:02
閉会式	全試合終了後

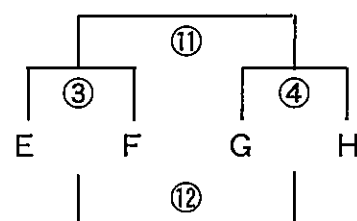
参加チーム(順不同・敬称略・略称)

【大阪】大阪中央・吹田
枚方・みなと・八尾
【兵庫】尼崎・宝塚・西神戸
兵庫県・レグルス
【京都】京都西・Kiwi's
【広島】広島P's
【富山】高岡Jr
【徳島】徳島
【愛媛】松山

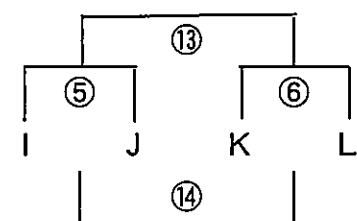
第1ブロック



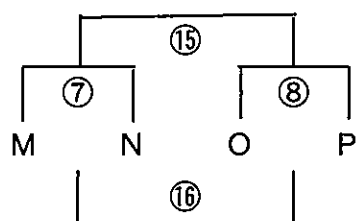
第2ブロック



第3ブロック



第4ブロック



A	
B	
C	
D	
E	
F	
G	
H	
I	
J	
K	
L	
M	
N	
O	
P	

第9回 ヒーローズカップ 関西大会(2月12日) 試合予定

2017・2・12

花園ラグビー場 第2グラウンド

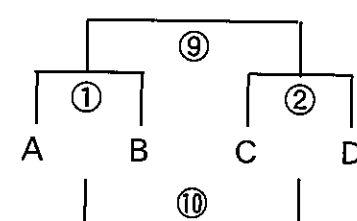
スケジュール

集合	8:30
代表者会議	9:00
レフリー会議	9:00
キャプテン会議	9:00
開会式	9:20
12分-3分-12分	
第①②ゲーム	10:30~10:57
第③④ゲーム	11:05~11:32
第⑤⑥ゲーム	11:40~12:07
第⑦⑧ゲーム	12:15~12:42
第⑨⑩ゲーム	12:50~13:17
第⑪⑫ゲーム	13:25~13:52
第⑬⑭ゲーム	14:00~14:27
第⑮⑯ゲーム	14:35~15:02
閉会式	全試合終了後

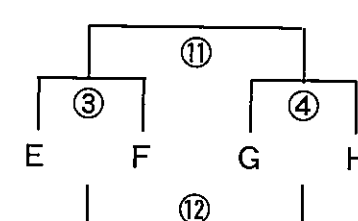
参加チーム(順不同・敬称略・略称)

【大阪】阿倍野・東大阪・箕面
【兵庫】芦屋・伊丹・三田
【京都】アウル
【奈良】とりみ
【滋賀】野洲
【山口】宇部小野田山口
【岡山】岡山
【三重】鈴鹿
【愛知】豊橋・名古屋
【岐阜】関
【徳島】鳴門

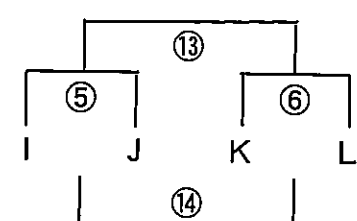
第1ブロック



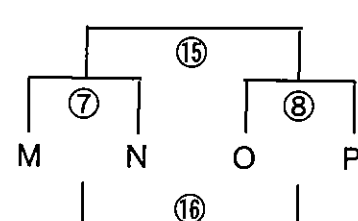
第2ブロック



第3ブロック

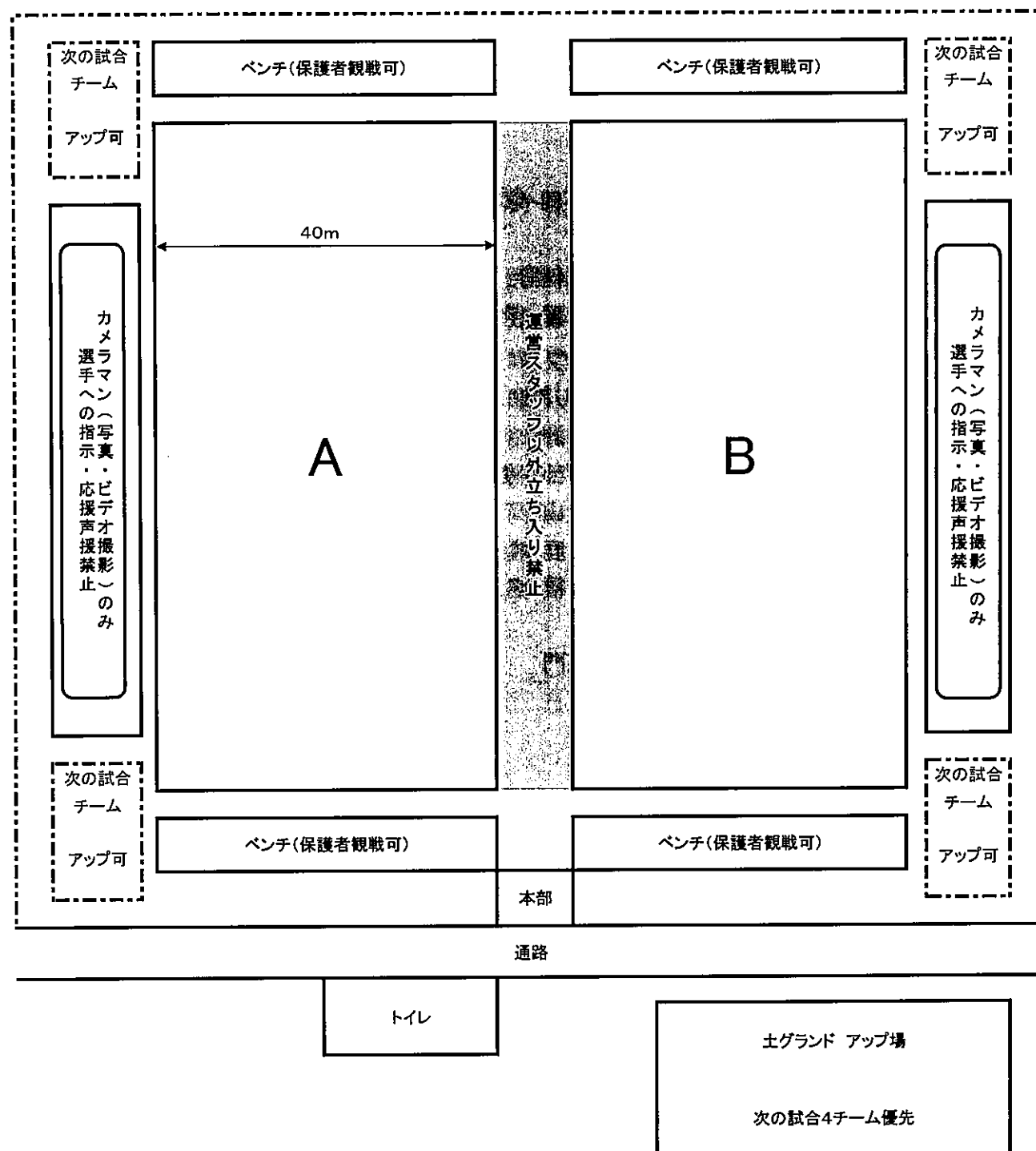


第4ブロック

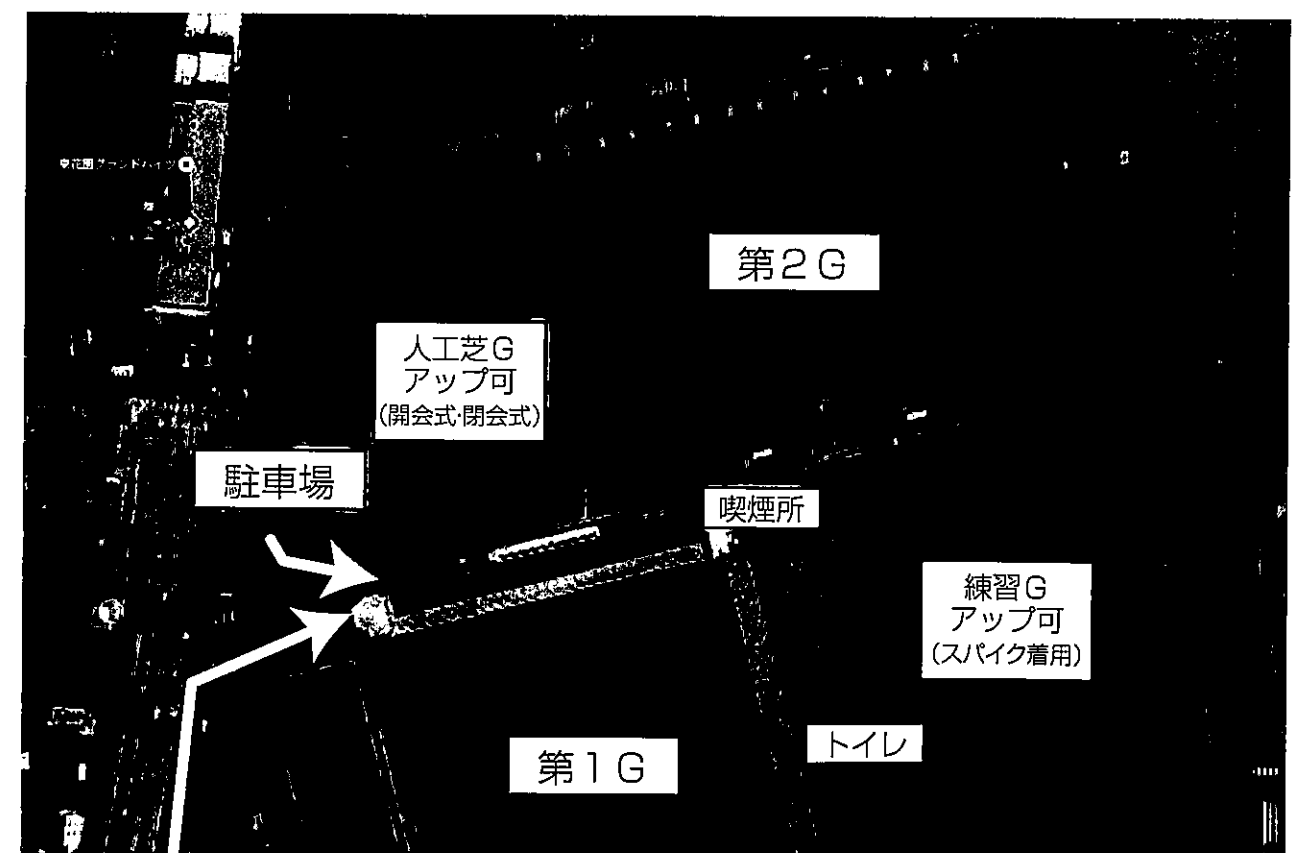
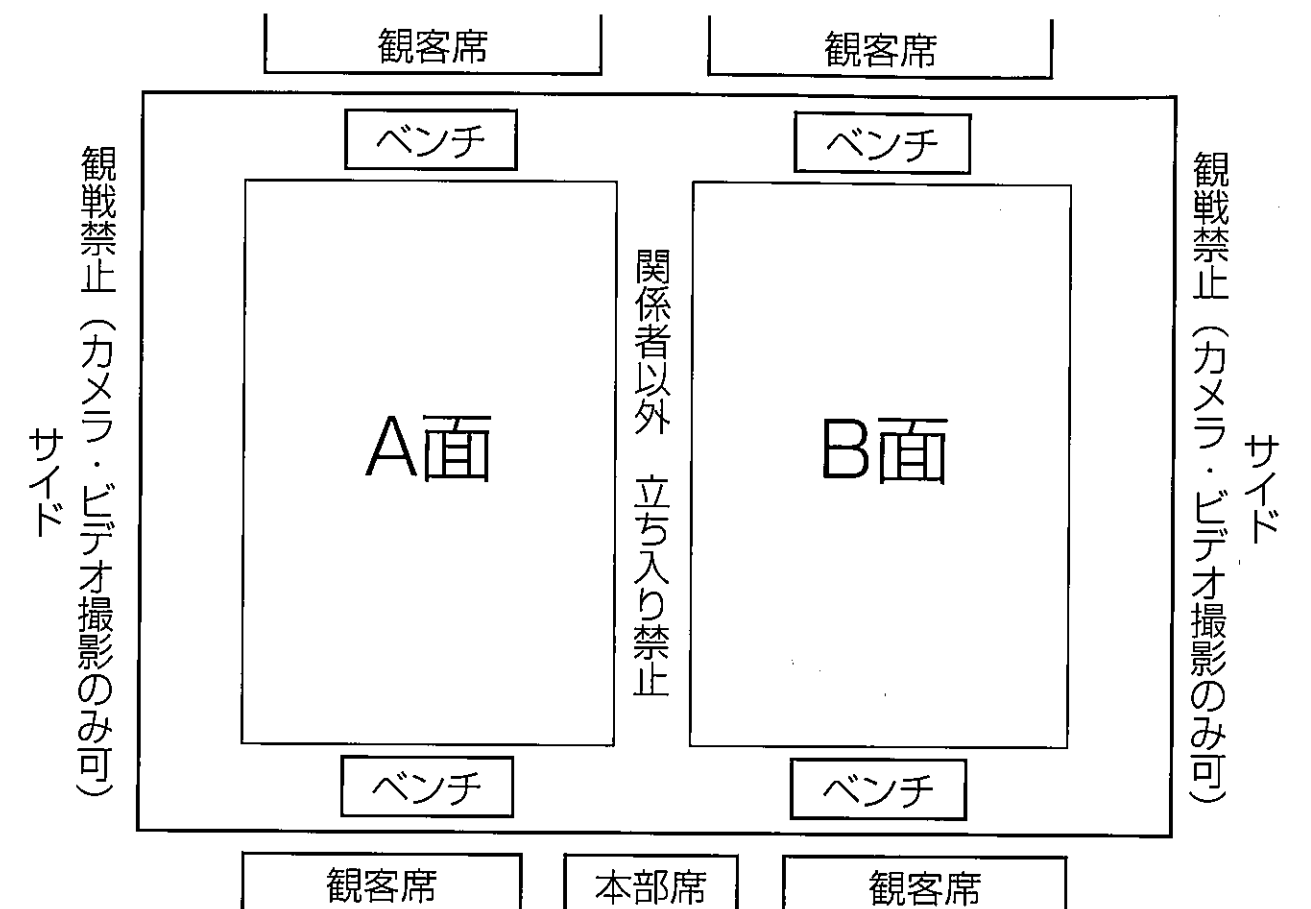


A	
B	
C	
D	
E	
F	
G	
H	
I	
J	
K	
L	
M	
N	
O	
P	

大阪国際大学 枚方キャンパス



花園第2グラウンド



第9回ヒーローズカップのレフリング指針

レフリー委員会委員長 田中伸明

近畿の32チームで始まりましたヒーローズカップも今年度第9回を迎えることとなりました。年々参加チームも増加し、昨年度は約180チーム、今年度はそれを上回る見込みとなり、ますます規模が拡大して、全国の少年少女が日本一を目指すにふさわしい大会となつてまいりました。

シニアの方でもワールドカップにおいて日本代表が南アフリカ代表に勝利、予選リーグ5チームで3勝しながら惜しくも決勝トーナメントに進めませんでした。続くリオデジャネイロオリンピックでは7人制ラグビーでニュージーランドを破り、ベスト4に入る快挙を成し遂げ、ますますラグビー熱が高まっています。

さて、この影響を受けラグビースクールに参加する人数は増加しています。ヒーローズカップも規模が拡大してきましたがその一方で、各地域でルールの解釈が微妙に異なり、子どもたちにもまた指導者にも戸惑いが生じている現実があります。

そこで、今年度は大会前の10月に北海道から九州まで各地区から長崎県にレフリーを迎え、これまでに感じておられた疑問点などを持ち寄る機会を設け、できる限り同じ目線でレフリングすることを心がけました。まだまだ課題は残っていると思いますが、今年度の試みは全国のミニラグビーの指導者とプレーヤー、及びレフリーに同じ基準でプレーを楽しんでもらえる一助になったと思います。

そうした中で、レフリングの最重要として注意すべきことは第一に安全です。万一危険なプレーが出たときはプレーを止め、厳しく注意して下さい。子どもたちのケガは全て大人たちの責任だという思いでラグビーにかかわっていく必要があります。

また、ラグビーという競技が広まるにつれ、マスコミ受けする表面上のことが取り上げられますが、子どもたちのラグビーはあくまでもスポーツマンシップ、倫理的な行動、フェアプレーを維持する能力を育てることにあります。ラグビーの持つ教育的価値、基本理念を忘れることのない様にレフリングでも常にそのことを念頭に置き、笛を吹いて下さい。

最後に大会運営に携わっておられる全ての方々に感謝し、この大会が勝敗にかかわらず、子どもたちの生き生きとした表情が見られ、一件の事故もなく終えることを願ってやみません。

<レフリングの指針>

1. 安全を最優先

スキルレベルが向上し、最新のスキルをコーチングされたプレーヤーが増えてきたとしても、小学生の大会として最重要である「安全性」を重視します。危険なプレーや危険な結果が予想されるプレーに対しては、トップレベルで容認されているプレーであっても、レフリーは笛を吹いて、プレーを止め、ペナルティの判定、またはイエローカード以上の対処をします。体格差が原因で危険な状態になる、または予想される場合も、「安全性」を最重要と考え、レフリングを実践します。

2. 厳格な判定

意図的に反則をし、ゲームを有利に進めて勝ちにつなげる行為は、小学生の大会ではあってはならないと考えます。意図的な反則、反則の繰り返しに対してレフリーは厳しく判定し、対処します。

また、レフリーに対する暴言についても、プレーヤーだけでなく、競技規則第10条8にもある通り、コーチやチーム関係者についても、同様に厳しく対処します。

3. コンテストの正確な判定

安全を最優先し、不行跡・不当なプレー・意図的な反則を厳格に判定し、コンテストの正当性を追求していきます。安全とコンテストプレーのバランスを保ちながら判断、判定を正確に行い、楽しくプレーが継続できるようにレフリングを行います。

<レフリングガイドライン>

競技規則は、平成 27 年改訂版 U-12 ミニラグビー競技規則に準じ、ローカルルールは適用しない。

1. 危険なプレーについて（安全のために）

安全を最優先したゲームコントロールを行う。

- ① いわゆる「亀ラック」＝スクイズボール（U19. 第 15 条 15.5）
→ 直ちにペナライズした上で注意をする
- ② ローヘッド（U19. 第 10 条 10.4 (t)）
→ 直ちにペナライズした上で注意をする
- ③ 危険なプレー（第 10 条 10.4 (a)～(g)）
→ 直ちにペナライズした上で注意をする

2. キックオフ

正しいキックオフの遂行と、プレーが止まったときに素早い判定を行う。

- ① キックオフしたボールが 5 m を越えない
→ センタースクラム
- ② キックオフしたボールが直接タッチに出る
→ センタースクラム（ラインアウトのオプション有り）
- ③ ドロップキックで正しく蹴らなかった
→ やり直し
→ 状況に応じてセンタースクラム（フルラグビーのルールを基に）

3. スクラム

正しいスクラムの遂行と、スクラム解消時の正確な判定を行う。

- ① オフサイドの解消
→ SH が手または足でボールに触れたとき
（SH が足を使って、投げやすい位置に動かすことも触れたと見なす）
- ② SH がボールに触る前に、攻撃側がオフサイドラインを越えて走り込みボールをもらう
→ オフサイドのペナルティを正しく判定
- ③ ゴールから 5 m 未満では形成されない（ラインアウト・ペナルティも同様）
- ④ スクラムが終了するまでバインドさせる。（第 20 条 20.1. (f)）
→ 注意してもバインドを外して飛び出したらペナルティ（第 20 条 20.3. (a) を適用）
- ⑤ ボールインの確認・徹底
→ 転がして入れるように指導

- ⑥ スクラムのフットポジションは平行であること
→ 平行にとるように指導
- ⑦ スクラムのレフリーのコーリングは「クラウチ、タッチ、ホールド、エンゲイジ」の 4 段階であること

4. ラインアウト

正しいラインアウトの遂行と、ラインアウト解消時の正確な判定を行う。

- ① クィックスローは認めない
- ② BK のオフサイド解消
→ ラインアウトが解消（終了）したとき
- ③ 8 m を越えて投げ入れる（ラインアウトに並んでいるプレーヤーが誰も触れていない場合）
→ やり直し
- ④ 先頭に立つプレーヤーが、ボールが 3 m 投げ入れられることを妨げる
→ 8 m でフリーキック
- ⑤ ハーフがキャッチせずにワンバウンドになった場合
→ ハーフが取った時点で解消
- ⑥ ワンバウンドのボールをラインアウトプレーヤーが取ったとき
→ その時点で解消
- ⑦ 大きく 5 m を越えた時
→ その時点で解消
- ⑧ ハーフとラインアウトプレーヤーがポジションチェンジするのは可能。
ただし、スロワーがボールを投げ入れ、ラインアウトが開始されるときには、二人並んでいること。

5. ペナルティキック

キック時に特に注意して、正しいペナルティキックを遂行する。

- ① ボールを地面に置かないで蹴る
→ やり直し
- ② キックは明確に
→ いずれかの方向に蹴り進めること
- ③ 勢いよく走り込んでボールをもらうプレー
→ PK だがキックしてからスタートするように注意
- ④ ノット 5 m の 2 度目は、間をおいてポイントを示し 5 m を取らせてからプレーさせる

6. キック

一般のプレー中のキックに対し、正しい判定を行う。

- ① 地上にあるイーブンボールを意図なく蹴る行為（いわゆる「フライキック」第10条10.4(h)）
→ ペナルティ
- ② ダイレクトタッチ
→ 10mラインの外側から蹴った場合は、蹴った地点でスクラム。（第13条13.18）
- ③ テイクインバックの適用
→ あり（シニアと同じルール）
- ④ ハーフタイムやフルタイムで外へ蹴り出す
→ OK

＜ゲームマネジメント＞

- ブリーフィング：キャプテン会議で、全チームまとめて行う。
 - ・ゲームで気を付けて欲しいことを簡潔に伝える。
 - ・安全第一、フェアプレー（正しくプレーする）、リスペクト（相手チーム）、ノーサイドの精神。
 - ・グラウンド（ゴールライン、デッドボールライン等のマーカー）の確認
 - ・キャプテンから、チームメンバーに伝えることをお願いする。
- ドレスチェック：大会スケジュールの中で全チーム順番に行う。
 - ・爪チェック。
 - ・スパイク（非金属の固定式およびブレードのみ）チェック。取り換え、アルミ、金属は、禁止。
 - ・ショルダーパット禁止。
 - ・IRB公認のゴーグルの場合は着用を認める。
- 試合の進行
 - ・レフリーと両チームが、一緒にピッチに入場し、挨拶する。
 - ・試合時間はタイムキーパ制。
 - ・キックオフ前半・後半の開始は、本部からのキックオフの合図後。
 - ・ノーサイドは本部からの合図の後、デッドになった時点。ロスタイムなし。
 - ・トライ後のコンバージョンキックは決勝大会以外なし。
 - ・両チームのジャージが似ている場合は、競技委員とレフリーがチームと相談のうえ対応を決定。
 - ・ノーサイド後は、整列挨拶し、グラウンドから速やかに出る。
 - ・選手交代は、第3AR・競技委員を通して行う。
 - ・スコアカードは、本部からの大会用のものを使い、必ずスコアチェックを行うこと。
 - ・プレーヤーに積極的に声かけを行ない、良いプレーを引き出す。
 - ・可能なら、ARからREFにコメント（良かった点・悪かった点）を共有し、次につなげる。
- アフターマッチファンクションの実施
 - ・レフリーからの講評
 - ・キャプテンによる相手に対する感想、担当コーチからの講評
 - ・握手

応援される皆様へ

ヒーローズカップ実行委員会

ベンチマナーに関してのお願い

日頃は、ミニラグビーの活動へご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

ヒーローズカップは、選手の貴重な成長の場であり、皆様には試合中自チームを監督する上で、応援マナーについてご理解いただくことで、選手がさらなる成長をすることと私どもは信じております。

ラグビーの誇りのひとつに「ノーサイド精神」があります。ラグビーでは、対戦相手は敵ではなく、仲間であります。試合は仲間がいるからでき、仲間に感謝する気持ちを持つことで、ルール・規律を守りフェアプレーでプレーいたします。それは、選手をはじめ、レフリー・指導者もラグビーを愛するどうし「リスペクト（尊敬）」しているからといわれております。

ベンチからの担当コーチの正しい指導・助言は、選手の最高のプレーを生み出します。選手の成長を信じ、ここにベンチマナーに関してご案内し、ご協力をお願い申し上げます。

1. ミニラグビーにおいて、「安全」はいつでもどこでもすべてに最優先される。

- ・自チームの選手だけでなく、対戦相手の仲間に対しても同様であります。
- ・絶対にけがをしない。絶対に相手にけがをさせない。厳守しましょう。

2. 自チームの選手に対し、ミスを叱咤したり、過剰なコーチングをしない。

- ・選手への建設的な指導・助言はヘッドコーチのみとし、他コーチはご遠慮願います。
- ・できるかぎり選手の判断にまかせましょう。
- ・過剰なコーチングが相手プレーヤーにプレッシャーを与えております。
- ・相手にプレッシャーを与えるのは、選手でありベンチコーチではありません。

3. 相手チームのミスを喜ばない。

- ・そのような方がいたら、周りの皆様が注意をしてあげてください。
- ・相手のミスを喜ばず、自チームのプレッシャーを褒めてあげてください。

4. レフリーへは敬意を表し、異議を唱えない。

- ・ミスジャッジと思われる場合でも、クレームは厳禁です。
- ・レフリーはアンパイヤ（審判）ではなく、委託者であります。
- ・レフリーを委託した以上、レフリーを信じましょう。

5. アフターマッチファンクションでは、対戦相手のコーチと交流を持ちましょう。

- ・勝利チームを決めるのは、競技力の優劣を決めるためではなく、選手の努力を讃えるためであります。

We are proud to keep good manners.

応援される皆様へ

ヒーローズカップ実行委員会

応援マナーに関してのお願い

日頃は、ミニラグビーの活動へご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

ヒーローズカップは、選手の貴重な成長の場であり、皆様には自チームの応援をする上で、応援マナーについてご協力いただくことで、選手がさらなる成長をすることと私どもは信じております。

ラグビーの誇りのひとつに「観客のたしなみ」があります。ラグビーでは、ゴールキック・ペナルティキックのときに、選手を邪魔するブーイングはありません。また観客席では、相手チームと一緒に席で応援いたします。それは、選手をはじめ、レフリー・指導者に加え、観客もラグビーを愛するどうし「リスペクト（尊敬）」しているからといわれております。

ご家族はじめ皆様の温かい応援は、選手の最高のプレーを生み出します。選手の成長を温かく見守っていただきたく、ここに応援マナーに関してご案内し、ご協力をお願い申し上げます。

1. 自分のお子さんや自チームの選手への応援はもちろん、相手チームの良いプレーにも拍手を送りましょう。

- ・相手チームから拍手をもらえると、自分の子どももチームも気分いいですね。

2. 自分のお子さんや自チームの選手に対し、ミスを叱咤したり、指導したりしない。

- ・試合中の指導は、担当コーチにおまかせください。大きな声で叫び続ける応援もご遠慮ください。
- ・鳴り物（ブブゼラ等）の使用もご遠慮ください。

3. 相手チームのミスを喜ばない。

- ・そのような方がいたら、周りの皆様が注意をしてあげてください。

4. レフリーへは敬意を表し、異議を唱えない。

- ・ミスジャッジと思われる場合でも、クレームは禁止です。

5. 競技場では禁止区域への立ち入りをしない等ルールを順守する。

- ・応援場所は、定められております。スタッフの指示に従ってください。
- ・子供たちが危険な場所で遊んでいたら、注意してあげてください。

6. ゴミは必ずお持ち帰りください。

- ・大会当日の終了時、その会場が1年で一番きれいな場所にいたしましょう。

Good supporter makes good players.

第9回 ヒーローズカップ 開催要綱

1. 主 催 NPO法人ヒーローズ
2. 主 管 ヒーローズカップ実行委員会
3. 後 援 スポーツ庁
関西ラグビーフットボール協会
大阪府ラグビーフットボール協会
東大阪市
東大阪市教育委員会
4. 目 的 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会が掲げる「JRFU戦略計画」に則り、ラグビーファミリーの増大を実現するため、全国のラグビースクール大会を実施することで全国各地域でのスクールラグビーの活動を活性化し、幅広い交流促進に寄与する。併せて大会を通じて切磋琢磨することにより、少年少女の技能の向上と心身の成長を目指すと共に、「ONE FOR ALL ALL FOR ONE」のラグビー精神を理解体得した選手を育成し、将来のラグビーを担うだけではなく、幅広い各分野で日本を支えてくれる多くのヒーローたちを育てる。また素晴らしい大会を作り上げることを通じ、参加する皆が人間性を育み高めあうことを目的とする。
5. 日程/会場

東北大会	2016年11月12日・13日	一関サッカー・ラグビー場
中国地区大会	2016年11月12日・13日	ツネイシしまなみビレッジ
関東大会	2016年11月27日	海老名運動公園陸上競技場
	2016年12月4日	熊谷スポーツ文化公園ラグビー場B・C
近畿地区大会	2016年12月11日	大阪国際大学G
東海北陸地区大会	2016年12月18日	中京大学ラグビー場
関西大会	2017年2月5日	大阪国際大学G
	2017年2月12日	花園第2G
決勝大会	2017年2月25日・26日	花園第1・第2G
6. 大会組織 (1) 本大会の開催に際しては、大会実行委員会を組織する。
(2) 大会実行委員会には、各委員長、副委員長、委員を任命する。
(3) これらの組織をもって、円滑な大会運営を図ることとする。
7. 参加資格 (1) 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会に平成28年度のチーム登録が完了した各都道府県ラグビーフットボール協会所属のラグビースクールにおいて「プレーヤー」として平成28年度の個人登録が完了した小学校6年生および5年生。
(2) 保護者が大会への参加を承諾した選手であること。また、大会参加にあたっては指導員等の引率者が必要とする。
(3) 出場チームから公益財団法人スポーツ安全協会の「平成28年度スポーツ安全保険」への加入が完了した者。

8. 参加チーム (1) 1スクール1チームとする。
(2) 合同チームのエントリー可能。
(3) 東北大会・関東大会は関東協会所属チーム
近畿地区大会は、大阪・兵庫を除く近畿地区のチーム
東海北陸地区大会は、東海北陸地方のチーム
中国地区大会は中国地方のチーム
関西大会は、大阪推薦8チーム・兵庫8推薦チーム・近畿地区大会5チーム・東海北陸地区大会5チーム・四国推薦3チーム・中国地区大会3チームの計32チーム
※関西大会は、大阪からは11月に行われる大会の上位8チーム、兵庫から兵庫県ラグビースクール大会の上位8チーム、四国から四国ラグビースクール大会の上位3チームを推薦
決勝大会は、関西大会8チーム、九州推薦4チーム、関東大会6チーム、東北大会1チーム、北海道推薦1チームの計20チームを予定
9. 競技方法 (1) 平成27年度公益財団法人日本ラグビーフットボール協会制定の『ミニ・ラグビーの競技規則・高学年用』による。
(2) 組み合わせは各大会毎に抽選にて決定する。
(3) 試合時間は、各大会毎に異なるが、1日2～3ゲームを行い、総ゲーム時間は60分を越えないものとする。
10. 参 加 費 参加大会毎に徴収する。詳細は各大会参加概要に記載。
11. そ の 他 各大会毎にマッチドクターを配置する。負傷に対して応急処置は行うが、大会主催者が以降の責任は負わない。
マッチドクターに競技続行不可能と判断された場合、当該選手は当日の試合には出場することができない。
選手の健康管理には十分注意すること。選手は健康保険証を持参すること。

第9回 ヒーローズカップ 実施規約

大会実施規約

1. 各大会毎に必要な選手以外のスタッフ

- (1) 大会の運営及び試合進行を円滑に進めるため、試合を実施するチームは必要なスタッフを試合毎に下記の通り選出しなければならない。

① 試合責任者	(必須)	各1名	試合実施チームの全責任者
② セーフティアシスタント (SA)	(必須)	各1名	セーフティアシスタント (SA) 資格保有者
③ 監督・コーチ	(任意)	任意	グラウンドへ入る人数は各大会で規定する
④ AR (タッチジャッジ)	(随時)	各1名	大会によっては、参加チームから選出。
⑤ レフリー	(随時)	任意	大会によっては、参加チームから選出。

- (2) 上記スタッフは、レンタル等の手段により自チーム以外の者を選出することができる。ただし、各チームはその行動の全てについて責任を負うものとする。

競技に関する諸注意事項

1. 選手登録の方法

- (1) 各大会への出場選手登録は、「第9回ヒーローズカップ開催要綱」の「7. 参加資格」の(1)(2)、(3)の要件を満たす者の中から人数制限なく登録できる。
- (2) ヒーローズカップへの出場推薦チームを選考する大会を含む各大会において、チームの移籍をして第9回大会の次の大会へ出場することは認めない。選手は、ヒーローズカップへの出場推薦チームを選考する大会を含むどれかの大会で、最初に出場登録をしたチームで最後まで出場登録することとする。
- (3) 上記選手登録に疑義が生じた場合、大会実行委員会にて出場を取り消す場合がある。違反して選手登録・出場をした場合、次回から当該チームの参加を認めないこともある。

2. 選手の交替・入替え

交替・入替えの際には、競技委員の指示に従って交替・入替えを行なう。一度の交替・入替えは3名までとする。いったん交替により退いた選手の再出場も認める。

3. シンビン、退場（競技規則第10条等参照）

- (1) シンビン（一時的退出）となったプレイヤーは、ハーフウェイライン付近の所定の場所に位置しなければならない。レフリーが許可するまで、フィールド・オブ・プレイに入ってはならない。
- (2) シンビンの時間は3分間とし、ハーフタイムの時間は含まれない。
- (3) 同一試合で2回目のシンビンを受けた選手は、そのまま退場となり、ゲームに再出場することはできない。また、各大会共通で次の1試合は自動的に出場停止となる。
- (4) シンビンの累積による退場以外の事由（不行跡等）で退場となった選手は、各大会競技委員会で処分を決定する。なお、各大会共通で次の1試合は出場停止となる。

4. 試合前受付

- (1) 試合当日、各大会競技委員が指定する時間に、試合責任者は代表者会議に出席し、メンバーおよび補助スタッフに関して、事前登録通りであるかを報告すること。
- (2) 各大会実行委員会より当日必要な伝達を行うので、代理の者でなく、必ず試合責任者本人が出席すること。

- (3) 代表者会議終了後、各大会のスケジュールにより、ドレスチェック・装身具のチェックを競技委員またはレフリーが行う。このドレスチェックを受けていない選手は試合に出場できない。
- (4) チームからARを選出した場合、必ず試合前にグラウンドへ集合し、競技委員に確認を受けること。レフリーの要求があれば、レフリーと打合せをすること。

5. 競技時・ハーフタイム時の諸注意

- (1) 試合中チーム関係者は所定の場所に位置し、うろうろしないこと。ゲームの進行とともに移動して応援したり、指示の声を出したりしないこと。
- (2) グラウンドへ水を持ち込む場合には安全な容器を用いること。（ビン等は不可）

6. 安全対策、脳震盪の報告義務、その他

- (1) 試合参加にあたっては、あらかじめ健康診断を受ける等、プレイヤーの健康管理に充分配慮すること。
- (2) 脳震盪を起こした疑いのある、あるいは脳震盪と診断された選手は退場させる。試合中に脳震盪で退場したプレイヤーが出た場合には、チーム責任者は所定の用紙によって報告の義務がある。
- (3) 脳震盪を起こした疑いのある、または、脳震盪と診断された選手は、必ず“IRB脳震盪ガイドライン”にある「段階的競技復帰プロトコル (GRTP)」に従って復帰すること。
- (4) 全てにおいて「安全」が第一優先順位であることを銘記すること。
- (5) 日本協会の「競技者個人登録（登録者傷害見舞金制度）」及び「スポーツ安全保険」の加入手続きに、漏れのないよう充分注意すること。
- (6) インフルエンザと診断、もしくは認められる選手は、各チームの責任において出場を辞退すること。
- (7) レフリーは、選手の安全のために、継続不可と認めたプレイヤーの出場を制限することができる。

プレイヤーの服装・ジャージの規定・ラグビーマナー

1. 服装の統一

- (1) ジャージ、ストッキングは、チーム全員統一されていることが基本ではあるが、コンバインドチームの参加もあるのでストッキングの統一までは求めない。
- (2) スパイクについてノシューズは一体成型型ゴム底のもので、鋭い形状の部分や鋭く隆起している部分がないものである限り、イボ状またはブレードタイプのものの着用を認める。スタッドの取り外しができる場合には、イボ状またはブレードタイプにかかわらず一切認めない。
- (3) ジャージ、その他の用具に血液が付着した場合には、直ちに切り替えなければならない。ジャージの損傷、血液の付着に対応するためスペアージャージを準備すること。
- (4) プレイヤーは必ずヘッドギヤを着用すること。(U12 競技規則 4 条 1. a)
- (5) プレイヤーに合ったマウスガードを装着することを推奨する。
- (6) 肩当ての着用は認めない。(禁止)
- (7) ロングタイツの着用は基本的に女子にのみ認められているが、アトピー対策等による場合は、競技委員の許可により男子にも着用を許すことがある。
- (8) 指先を切った手袋のみ着用を許す。指先まで覆う手袋は着用できない。
- (9) ワールドラグビーの承認マークが付いたゴーグルであれば、着用を認める。

2. プレイヤーの着こなし

- (1) 参加選手はラグーマンとしてふさわしい服装、身だしなみを心がける。

第9回 ヒーローズカップ 安全対策規程

ヒーローズカップでは、安全を最優先とします。積極的に安全対策を行うことによって、危険の予知と予防、万が一の事故の際に適切な処置を出来る様にするため、各大会に関する安全対策規程を下記の通り定めることとします。

1. 必要な人員

(1)安全に試合を進行し、負傷や事故にすぐに対応できるように、下記の通りの安全スタッフを配置すること。

① マッチドクター

競技場の隣接する2グラウンドに対して、1名以上配置する。

協会登録の医務委員、またはセーフティアシスタント(SA)資格保有者が望ましい

② セーフティアシスタント(SA)

各試合各チームから1名、セーフティアシスタント(SA)資格保有者を選出する。

③ 競技委員

各試合に1名以上。安全なゲーム進行を見守る。

2. 環境整備

(1) 水源の確認(水道水および飲料水のチェック)。

(2) 氷の準備。

(3) 救急バッグの準備。

マッチドクターと事前に確認を取り、運営側で準備をする。

(内容物の目安)

テーピング用テープ、三角巾(4枚以上)、はさみ(2本以上)、体温計(2本以上)、綿花、単ガーゼ、消毒セット(ディスポ10本以上)、絆創膏、包帯、バンドエイド、コールドスプレー、ネット、弾力包帯、etc.

(4) ドクター待機場所の準備

医務室のない会場では、医務テントの設置が望ましい。

救急バッグ・水・氷・AED(リースも可)を設置。

(5) 救急受け入れ医療機関の事前確認

当日、大会が行われることを付近の医療機関に事前連絡をして、救急受け入れ先を確認しておく。

(6) グラウンドの準備

複数グラウンドで同時に行う時は、競技区域の間隔を充分空ける。(タッチラインの共有はしない)

必ず試合前に、グラウンドおよび周辺を、競技委員その他スタッフでチェックする。

3. 参加チーム

(1) 各チームに安全対策委員(安全推進講習会受講者または、セーフティアシスタント(SA)資格保有者または、試合責任者)を選出し、チームの安全対策を実施すること。

(2) セルフチェックシートの利用や、健康診断の実施等、選手の体調管理を普段から行い、試合当日は保護者から選手の健康状態をヒヤリングして、選手の健康状態を充分に把握しておくこと。

(3) 体調に異常所見が認められる選手、体調不良の選手を出場させない。

(4) 安全第一で正しい指導を心がけること。危険なプレーにつながる言動を行わないこと。

(5) ラグビーに適した服装で試合に参加し、爪のチェックを行う。

(6) 試合後および試合の合間は、防寒具等を着用し体を冷やさないようにする。

(7) ウォームアップ・クールダウンを充分に行わせ、障害の予防をする。

(8) 安全プレーを推進し、タックルの基本姿勢、ラック・モールの姿勢を、充分に指導しておく。

(2) 選手は以下の着こなしを遵守すること。レフリーや競技委員から指摘される前に、各自、各チームで直すこと。

①ストッキングはきちんと上げる。試合中にずり落ちないようにテープ等できちんと止めること。

②パンツの上に出たジャージは、常に注意してパンツの中に入れる。

③ジャージのエリを内側に折り込まない。

④ジャージのソデを極端にたくし上げたり、テープで止めたりしない。

(3) ドレスチェック時に、レフリー及び競技委員が服装、スタッド等の確認を行う。選手は、レフリーと競技委員の指示に従うこと。

(4) ドレスチェックで不許可となったものを競技区域で着用していた場合には、その時点で「競技規則」第4条5(C)により退場とするが、交代選手の出場を許可する。退場した選手は、服装を正したら、レフリーの許可を得て競技に復帰できるものとする。

(5) 服装規定に関して不明な点は事前に各大会実行委員会まで問い合わせをする等、当日のドレスチェックの際にトラブルが起こらないよう、事前徹底、再確認を充分しておくこと。

3. ラグビーマナー

(1) レフリーへの批判、選手への感情的発言・暴言・セルフジャッジ等々、非紳士の言動は厳禁する。選手以外の監督・コーチ・その他のスタッフ、保護者、応援団も同様に禁ずる。試合中は、建設的な応援・励ましを心がけ、レフリー・対戦相手への敬意と尊敬の念を忘れないこと。

(2) 各大会の会場(グラウンド内、更衣室とグラウンドとの往復等を含む)では、選手、指導者、スタッフ、保護者等、全員が公共空間でのマナー保持に充分注意すること。

(4) ゴミ(グラウンド内ばかりでなく更衣室等のゴミも含む)は、会場内のゴミ箱に捨てず、必ず各自、各チームで持ち帰ること。チームはゴミ袋を用意して、すべてのゴミを持ち帰ること。

(5) 会場内は、グラウンド、更衣室等、駐車場、その周辺区域を含めて、許可された喫煙場所がある場合を除いて全面禁煙とする。

(6) 会場周辺の公道への違法駐車は厳禁する。

セーフティアシスタント

1. セーフティアシスタント(SA)について

(1) セーフティアシスタント(SA)は、試合前にマッチドクターと互いに確認を行い、試合中の連携を心がける。

(2) セーフティアシスタント(SA)は、必要に応じて試合中にグラウンドへ自由に入ることができる。待機場所は自チーム選手席であるが、選手の安全を見守る限りは自由に動いてよい。ただし、声援やプレーの指示は絶対に行わない。(選手の安全確保を考慮した指示を除く)

(3) セーフティアシスタント(SA)は、各大会の競技委員の指示に従って、ビブス等、他のスタッフと区別できる服装を着用する。

4. レフリー

- (1) 安全なレフリングを最重要とし、危険な反則に対しては特に厳しく対処する。
- (2) 積極的にプリベントコールを行い、反則と危険を未然に防ぐ。
- (3) コンタクトプレーにおいてバインドをするように指導する。ノーバインドによるコンタクトに対しては、事前に声をかけて予防し、もし発生したら単に反則を取るだけでなく、事後によく注意する。
- (4) 体調不良、怪我等で継続不可と判断する選手には、プレーを続行させない。

第9回ヒーローズカップに関する 個人情報及び肖像権に関わる取扱いについて

NPO法人ヒーローズ

特定非営利法人ヒーローズは、(以下「NPO法人ヒーローズ」という。)は、大会参加申込書等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取扱いに関して以下の通り対応します。

1 参加申込書に記載された個人情報の取扱い

- (1)大会プログラムに掲載することがあります。
- (2)競技会場内でアナウンス等により紹介されることがあります。
- (3)競技会場内外の掲示板等に掲載されることがあります。
- (4)組合せ等の内容が大会関連ホームページに掲載されることがあります。
- (5)氏名・学校名・学年については、報道の正確性を期すため、大会開催前に報道機関に提供することがあります。
- (6)大会スポンサーに対して、提供することがあります。

2 競技結果(記録)等の取扱い

- (1)NPO法人ヒーローズ、又はこれらに認められた報道機関、大会スポンサー等により、新聞・雑誌及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (2)大会プログラム掲載の個人情報とともに、ヒーローズが作成する大会報告書(以下「報告書」という。)に掲載されることがあります。
- (3)記録、優勝及び上位入賞結果(記録)等は、次年度以降の大会プログラムに掲載されることがあります。

3 肖像権に関する取扱い

- (1)NPO法人ヒーローズに認められた報道機関や大会スポンサー等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページや、TVCM等で公開されることがあります。
- (2)NPO法人ヒーローズに認められた報道機関や大会スポンサー等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットにより配信されることがあります。また、DVD等に編集され、配布されることがあります。
- (3)この他、NPO法人ヒーローズに許可を受けた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがあります。

4 NPO法人ヒーローズの対応

- (1)取得した個人情報を前記利用目的以外に使用することはありません。
- (2)参加申込書の提出により、前記取扱いに関する御承諾をいただいたものとして対応させていただきます。
- (3)大会役員、競技役員、運営委員、その他各種委員や補助員、ヒーローズカップに関する契約をしている者、大会運営関係者及び会場に来られた観客の皆様につきましては、前記取扱いに関する御承諾をいただいたものとして対応させていただきます。

ヒーローズカップ記念タオル販売のお知らせ

毎年ご好評いただいておりますヒーローズカップ記念タオルを本年度も販売することとなりました。

例年、試合会場のみでの販売としておりましたが、今回はチーム単位での予約を受付させていただきます。

ヒーローズカップの出場記念に是非お申し込みください。



白地タオルに文字色が毎年変わります。
第9回大会は何色でしょうか？
118cm×21cmのマフラータオル

1本 1000円



【申込先】

ヒーローズカップ事務局 info@heroes-cup.com

お渡しは、各大会当日本部にてさせていただきます。

なお、事前お申し込みはチーム単位のみとさせていただきます。

試合当日、大会本部にて個別にお買い求めもいただけます。

(数に限りがございますのでご了承ください)

HEROES CUP

HEROES CUP

HEROES CUP

HEROES CUP

The 9th HEROES CUP

おしなにチャレンジ! Jr. アスリートの動画チャンネル

アスチャンTV



<http://www.asuchan.tv>

ご存じですか? アスチャンTV

登録不要
無料視聴

HEROES CUP
ライブ配信

スマホで
視聴可能

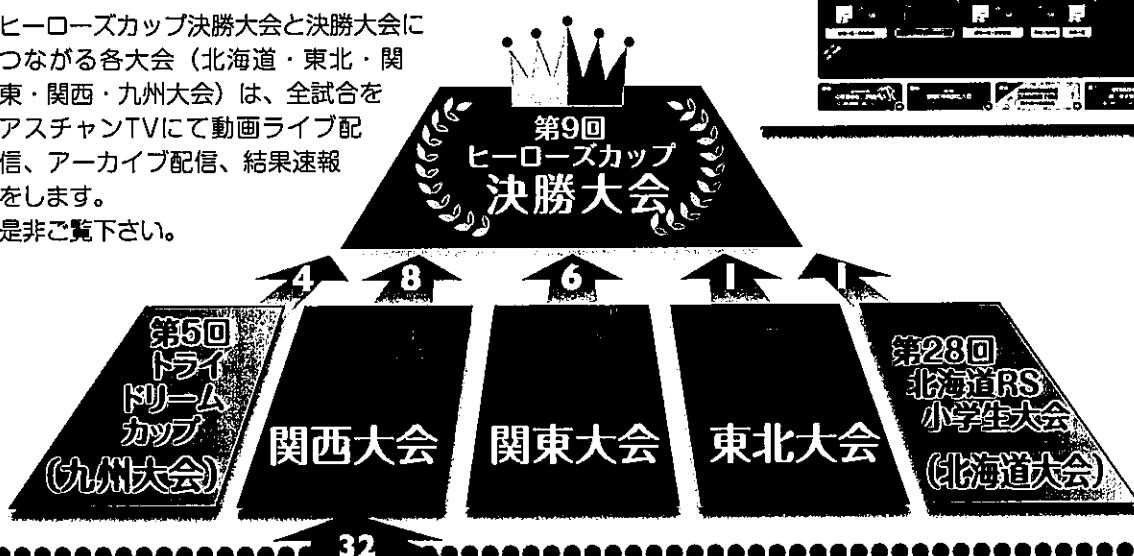
見逃した
試合も
後日視聴

アスチャンTVは、登録不要、
誰でも視聴できる
ネット動画配信です。
ヒーローズカップの様子を
ライブで実況!
気になる試合経過も
スマホで確認することが可能!
動画は一定期間アーカイブで残り、
後日視聴できます。

アスチャンTV

Q 検索

ヒーローズカップ決勝大会と決勝大会に
つながる各大会（北海道・東北・関
東・関西・九州大会）は、全試合を
アスチャンTVにて動画ライブ配
信、アーカイブ配信、結果速報
をします。
是非ご覧下さい。



動画ライブ配信
アーカイブ配信

③ 中国地区大会 8

⑤ 東海北陸地区大会 20

⑤ 近畿地区大会 17
(京都・奈良・滋賀・和歌山)

⑧ 第34回 兵庫県ラグビー
スクール大会

⑧ 11月に開催される大会 (6校)

③ 第28回 四国ラグビー
スクール大会